



大雪に係る鳥取県情報連絡会議

【日 時】令和4年12月21日(水) 午前10時40分～

【場 所】災害対策本部室（県庁第2庁舎3階）

【参加者】知事、副知事、統轄監、関係部局

鳥取地方気象台、中国地方整備局、鳥取運輸支局、

NEXCO西日本（株）、中国電力（株）、

NTT西日本（株）

* 副知事、統轄監は別室で参加

* 各総合事務所、市町村、消防局、自衛隊、JR西日本（株）等には映像配信

【次 第】

1 最新の気象状況及び今後の予測等

2 市町村・県民等への注意喚起

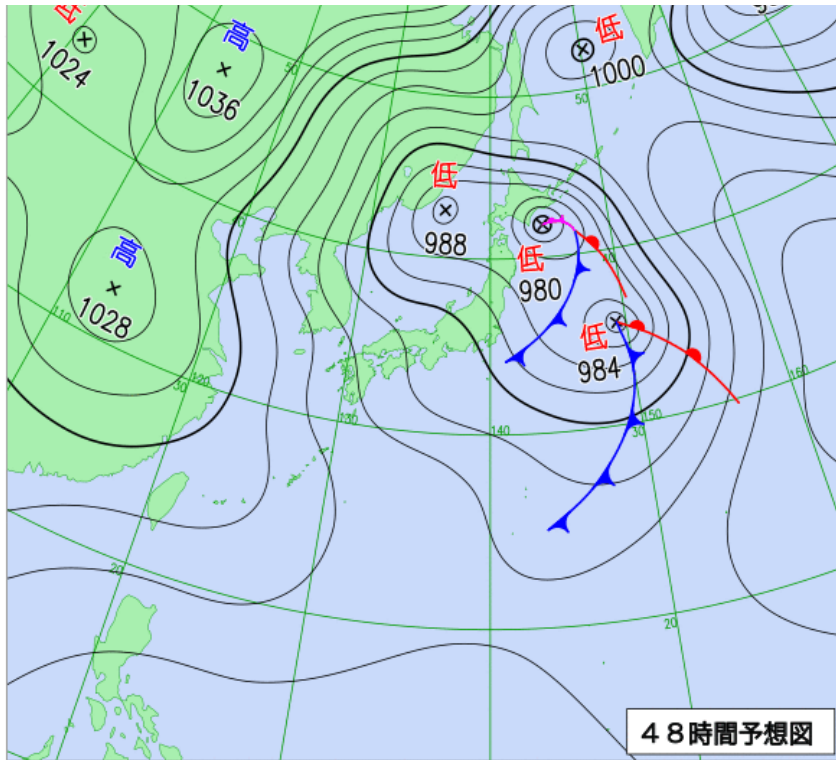
3 警戒・即応体制の確保等

(1) 県の体制

(2) 各部局の対応

12月22日21時の予想と週間天気

12月22日21時の予想天気図



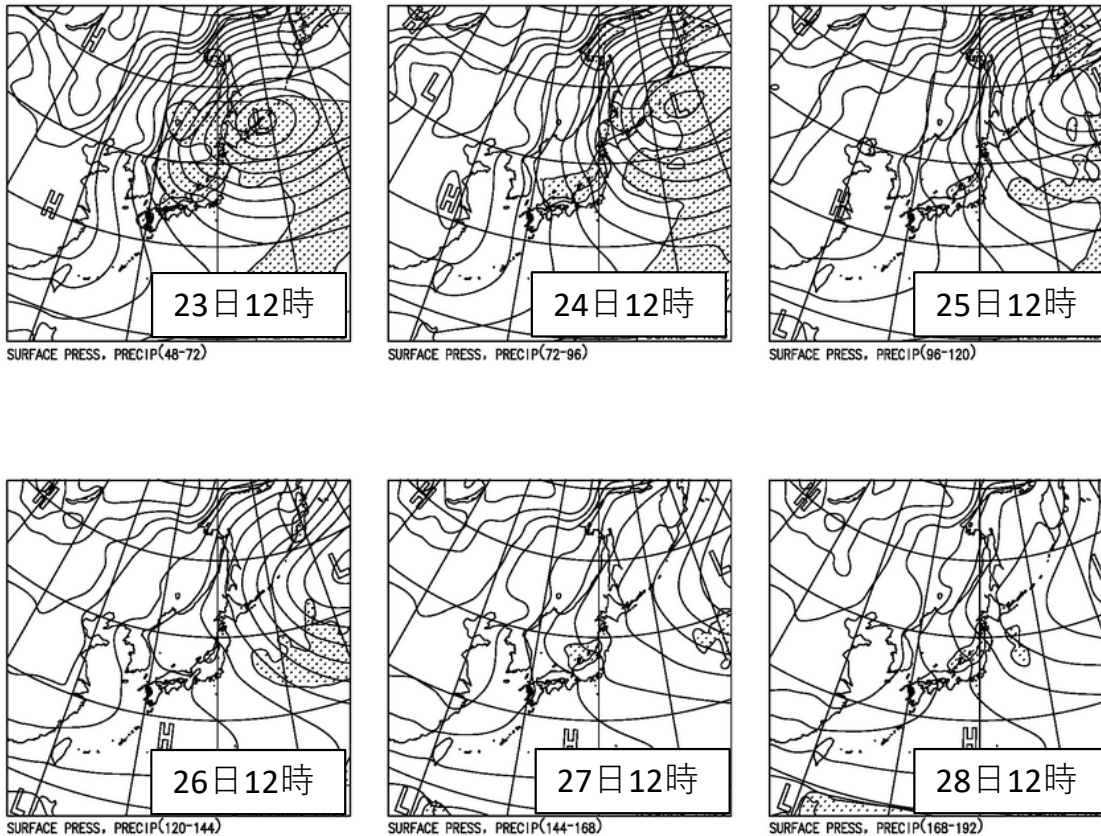
22日から24日頃にかけて、中国地方の上空約1500メートル付近には氷点下9℃以下の強い寒気が流れ込み、強い冬型の気圧配置となる見込み。

このため22日夕方から24日頃にかけて大雪となるおそれがある。初冬は海面水温が高く、雪の量が増える可能性がある。

鳥取県の天気予報 (6日先まで)								
2022年12月21日05時 鳥取地方気象台 発表								
日付	今日 21日(水)	明日 22日(木)	明後日 23日(金)	24日(土)	25日(日)	26日(月)	27日(火)	
鳥取県	曇後雨 	曇後雪 	風雪強い 	曇時々雪か雨 	曇時々雨か雪 	曇一時雨か雪 	曇 	
降水確率(%)	-/0/50/70	30/40/50/50	70	70	60	50	40	
信頼度	-	-	A	A	B	C	C	
鳥取 気温 (℃)	最高	10	8	2 (1~4)	4 (2~6)	7 (5~9)	9 (7~12)	9 (7~12)
	最低	-	5	-1 (-3~1)	-1 (-3~1)	1 (-1~3)	2 (0~5)	2 (0~5)
向こう一週間 (今日から6日先まで) の平年値								
鳥取	降水量の7日間合計			最低気温		最高気温		
	平年並 32 - 56mm			2.4℃		9.9℃		

22日から27日までの週間予想と早期注意情報

週間予想図 (12月20日21時初期値)



早期注意情報

鳥取県の早期注意情報 (警報級の可能性)		2022年12月21日05時 鳥取地方気象台 発表									
鳥取県東部		21日			22日		23日	24日	25日		
		06-12	12-18	18-24	00-06	06-24					
大雨	警報級の可能性	-	-	-	-	-	-	-	-		
	1時間最大	15以下	15以下	15以下	15以下	15以下					
	3時間最大	25以下	25以下	25以下	25以下	25以下					
	24時間最大	50以下									
大雪	警報級の可能性	-	-	-	-	-	[中]	[中]	-		
	6時間最大	下記以外	0	0	0	0	6				
		山地	0	0	0	0	10				
	24時間最大	10から20									
暴風(雪)	警報級の可能性	-	-	-	-	-	-	-	-		
	最大風速	陸上	9以下	10	10	10	12				
		海上	9以下	11	13	14	20				
波浪	警報級の可能性	-	-	-	-	-	[中]	-	-		
高潮	警報級の可能性	1	1.5	1.5	2.5	5					
鳥取県中・西部		21日			22日		23日	24日	25日		
		06-12	12-18	18-24	00-06	06-24					
大雨	警報級の可能性	-	-	-	-	-	-	-	-		
	1時間最大	15以下	15以下	15以下	15以下	15以下					
	3時間最大	25以下	25以下	25以下	25以下	25以下					
	24時間最大	50以下									
大雪	警報級の可能性	-	-	-	-	[中]	[中]	[中]	-		
	6時間最大	下記以外	0	0	0	3	15				
		日野地区	0	0	0	3	20				
	24時間最大	30から50									
暴風(雪)	警報級の可能性	-	-	-	-	-	-	-	-		
	最大風速	陸上	9以下	10	10	10	12				
		海上	9以下	11	13	14	20				
波浪	警報級の可能性	-	-	-	-	-	[中]	-	-		
高潮	警報級の可能性	1	1.5	1.5	2.5	5					

■ [高] ■ [中]

22日から24日頃にかけて冬型の気圧配置が強まり、荒れた天気となる見込み。大雪、大しけのおそれがある。
22日から24日は大雪の早期注意情報「中」
23日は波浪の早期注意情報「中」

明後日(23日)までの予想

			21日						22日						23日					
			6-9時	9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-3時	3-6時	6-9時	9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-6時	6-12時	12-18時	18-24時
			朝	昼前	昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く	未明	明け方	朝	昼前	昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く				
警報級の可能性 (大雪)															中	中	中	中	中	
大雪 (センチ)	東部	平地																		
		山地																		
	中・西部	平地																		
		山地																		
風 (メートル)	東部	陸上	5 ↻	7 ↗	10 ↗	10 ↗	10 ↗	10 ↗	8 ⇨	10 ⇨	12 ⇨	12 ⇨	12 ⇨*	12 ⇨*	12 ⇨*	12 ⇨*	*	*	*	*
		海上	9 ↗	9 ↗	11 ↗	11 ↗	12 ↗	13 ↗	13 ⇨	14 ⇨	15 ⇨	15 ⇨	16 ⇨*	18 ⇨*	20 ⇨*	20 ⇨*	*	*	*	*
	中・西部	陸上	6 ↗	7 ↗	10 ↗	10 ↗	10 ↗	10 ↗	8 ⇨	10 ⇨	12 ⇨	12 ⇨*	12 ⇨*	12 ⇨*	12 ⇨*	12 ⇨*	*	*	*	*
		海上	9 ↗	9 ↗	11 ↗	11 ↗	12 ↗	13 ↗	13 ⇨	14 ⇨	15 ⇨	15 ⇨*	16 ⇨*	18 ⇨*	20 ⇨*	20 ⇨*	*	*	*	*
波浪 (メートル)	鳥取県		1	1	1.5	1.5	1.5	1.5	2	2.5	3	3	3	4	4	5				
雷	鳥取県								注	注	注	注	注	注	注					

警報級
注意報級
* 雪を伴う

【雪】
 冬型の気圧配置が強まり、中国地方の上空約1500メートルには氷点下9度以下の強い寒気が流れ込み大雪となる見込み。
 中・西部：大雪、22日21-24時、23日 早期注意情報[中]
 東部： 大雪、23日 早期注意情報[中]

【風・波】
 23日にかけて、風が強く、しける見込み。23日は、波浪、早期注意情報[中]

■ 24時間降雪量 (多い所) ■ (21日06時～22日06時)			(22日06時～23日06時)		
東部	平地	0センチ	東部	平地	20～40センチ
	山地	0センチ		山地	40～60センチ
中・西部	平地	0センチ	中・西部	平地	20～40センチ
	山地	3センチ		山地	40～60センチ

大雪注・警報基準(鳥取県)
 12時間降雪の深さ
 注意報 平地 15cm, 山地 25cm
 (大山アメダス 35cm)
 警報 平地 25cm, 山地 40cm
 (大山アメダス 55cm)

【雪】

- ◆22日から24日頃にかけて断続的に雪が降る。大雪となる見込み。

【風】

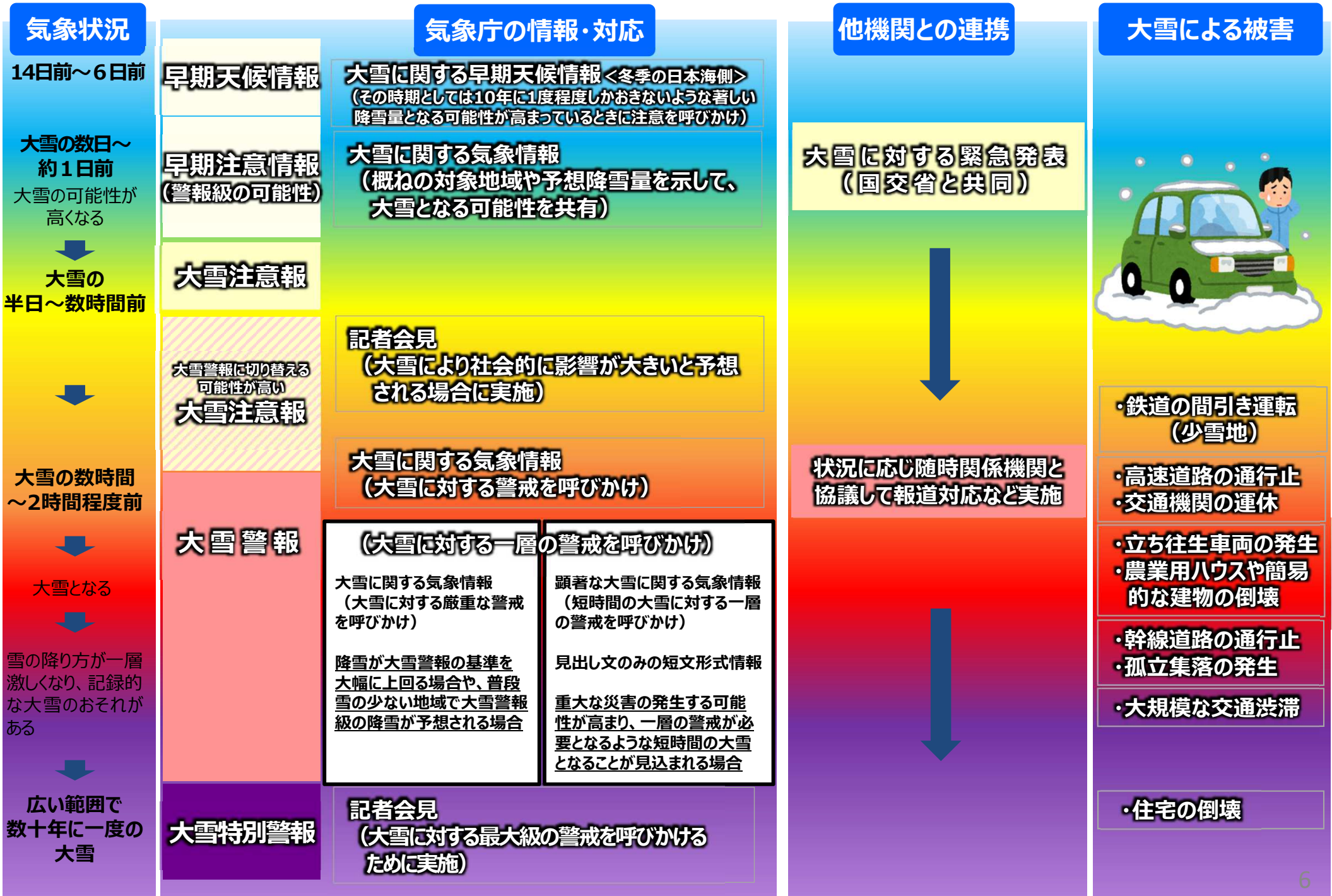
- ◆22日から雪を伴った強風に注意。

【波】

- ◆22日の午後にはしけとなる見込み。

《防災事項》

積雪や路面の凍結による交通障害、電線や樹木への着雪、雪による倒木、なだれ、高波、強風、雪による見通しの悪化、落雷、突風、農作物や農業施設(ビニールハウスの倒壊など)の管理



情報発表のタイミング

2週～6日前

5日前

3日程度前

1、2日前

数時間前

大雪

大雪に対する一層の警戒を呼びかけ

- 「大雪に関する気象情報」発表
(大雪に対する厳重な警戒を呼びかけ)
- 「顕著な大雪に関する気象情報」発表
(短時間の大雪に対する一層の警戒を呼びかけ)

数十年に一度の
降雪量となる大雪

社会的に影響を与える降雪が予想される場合は、段階的に情報を発表します。

「早期天候情報」発表

大雪に関して、近畿日本海側と山陰の地域を対象に注意を呼びかけます。
発表日（原則として月・木曜日の14時30分頃）の6日先から14日先までを対象として、5日間降雪量が「かなり多い」となる確率が30%以上と見込まれる場合に発表します。

※降雪量が「かなり多い」とは、その時期にその地域で10年に1回程度の降雪量。

「早期注意情報（警報級の可能性）」発表（明後日以降5日先まで）

警報級の現象となる可能性を、「高」「中」「－」で発表します。

「気象情報」発表

強い冬型の気圧配置などにより、社会的に影響を及ぼす降雪が予想される場合に発表します。

「早期注意情報（警報級の可能性）」発表（明日まで）

警報級の現象となる可能性を、「高」「中」「－」で発表します。

「気象情報」発表

多雪地帯で大雪警報基準以上の降雪が予想される場合、または雪が少ない地域で大雪注意報基準以上の降雪が予想される場合に「大雪に関する気象情報」を発表します。また、雪に対する備えのできていない寒候期初期や普段は雪がほとんど積もらない地域での積雪など、社会的に影響を及ぼす降雪が予想される場合は「雪に関する気象情報」を発表します。

「警報、注意報」発表

警報・注意報それぞれの基準を超える大雪が降ると予想される場合に大雪警報・注意報を発表します。
雪を伴って風が強く、風雪により交通障害等が発生するおそれがある場合は暴風雪警報・風雪注意報を発表します。

大雪注意報	東部	鳥取地区	平地 12時間降雪の深さ15cm 山地 12時間降雪の深さ25cm	風雪注意報	東部	鳥取地区	陸上 12m/s * 3, 海上 15m/s 雪を伴う	
		八頭地区	倉吉地区			八頭地区	12m/s 雪を伴う	
中・西部	中・西部	米子地区	平地 12時間降雪の深さ15cm 山地 12時間降雪の深さ25cm * 1	中・西部	中・西部	米子地区	陸上 12m/s, 海上 15m/s 雪を伴う	
		日野地区	12時間降雪の深さ25cm			日野地区	12m/s 雪を伴う	
		鳥取地区	平地 12時間降雪の深さ25cm 山地 12時間降雪の深さ40cm			東部	鳥取地区	陸上 20m/s, 海上 25m/s 雪を伴う
大雪警報	東部	八頭地区	山地 12時間降雪の深さ40cm * 2	暴風雪警報	東部	八頭地区	20m/s 雪を伴う	
		倉吉地区				中・西部	倉吉地区	陸上 20m/s, 海上 25m/s 雪を伴う
		米子地区					米子地区	
		日野地区					12時間降雪の深さ40cm	

* 1 大山（アメダス）の観測値は35cmを目安とする。
* 2 大山（アメダス）の観測値は55cmを目安とする。

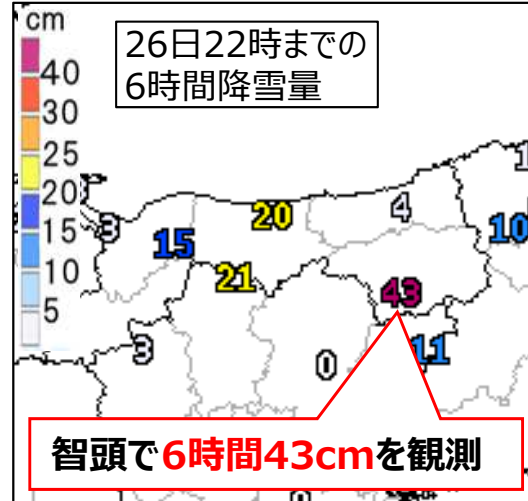
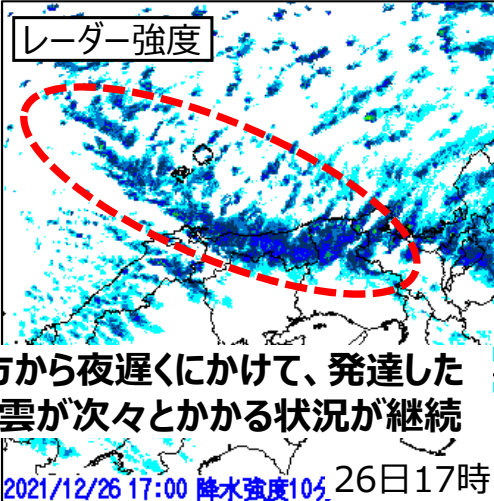
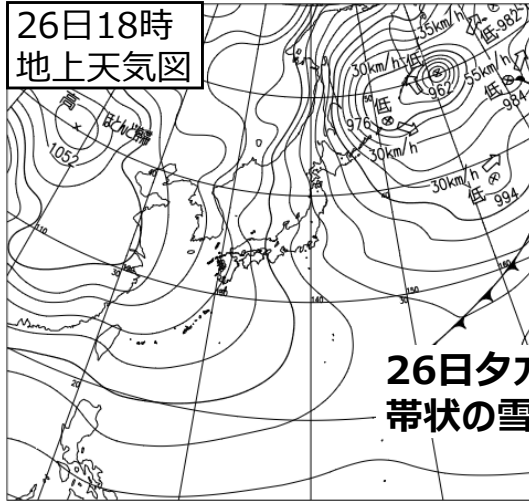
* 3 湖山（アメダス）の観測値は15m/sを目安とする。

「特別警報」発表

府県程度の広がりをもって50年に一度の積雪深となり、かつ、その後も警報級の降雪が丸一日程度以上続くと予想される場合に大雪特別警報を発表します。

「顕著な大雪に関する気象情報」発表例 2021年12月25～26日 鳥取県

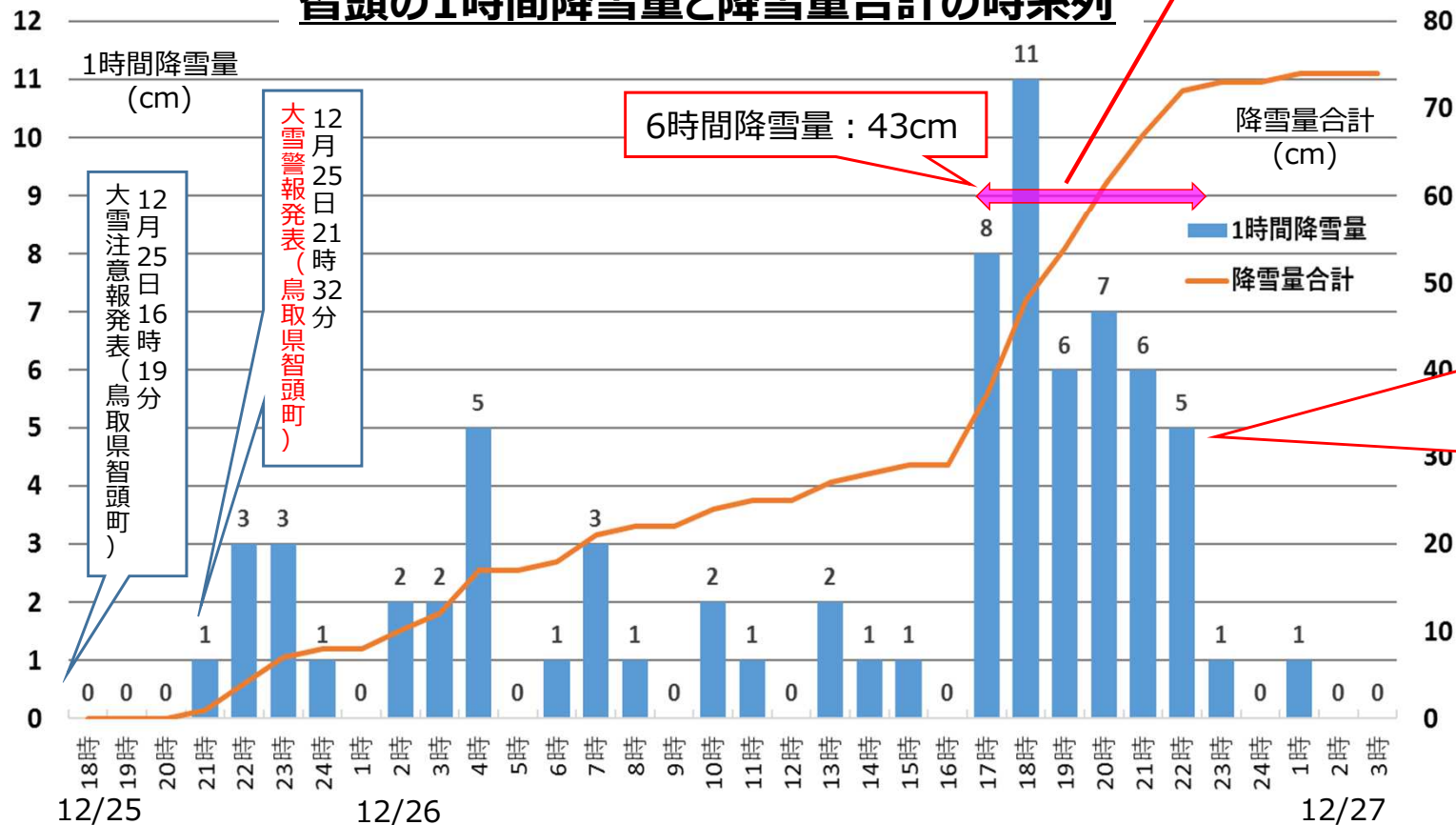
26日18時
地上天気図



発表の目安

中国地方	松江・鳥取・広島・岡山	アメダス地点で6時間降雪量が、平地で30cmまたは山地で40cmに達し、その後も警報級の降雪が続いて、12時間降雪量が警報基準を超過すると予想するとき
------	-------------	---

智頭の1時間降雪量と降雪量合計の時系列



12月24日
大雪に関する緊急発表

12月25日16時19分
大雪注意報発表(鳥取県智頭町)

12月25日21時32分
大雪警報発表(鳥取県智頭町)

12月26日22時17分
鳥取県気象情報発表
顕著な大雪に関する

お知らせ

大雪に関する緊急発表
～不要不急の外出はお控え下さい～

- 26日夕方から27日頃にかけて、山陰中山間北部を中心に大雪となる見込みです。特に山路では26日は短時間に降雪が強まるおそれがあります。【別紙-1】
- 道路利用者の皆様においては不要不急の外出は避けて下さい。
- やむを得ず外出される場合には、冬用タイヤの装着や、タイヤチェーン装着をお願いします。
- チェーン規制の実施や広域迂回をお願いする場合がありますので、通行ルートの見直しをお願いします。【別紙-2】
- 公共交通機関においても、大規模かつ長時間にわたる遅延や、運休が発生するおそれがあります。
- 最新の気象情報及び交通情報等に注意し、外出が必要な場合には、十分な時間の余裕を持って行動頂くようお願いいたします。

新潟県で発生した立ち往生の状況

(NHKニュース) 大雪 新潟 県内の国道 通行止めすべて解除

【12/21 8時現在】(2022年12月21日 8時44分配信)

記録的な大雪で通行止めが続いていた新潟県長岡市などの国道8号と17号は立往生や渋滞が解消し、21日午前8時、およそ26時間ぶりに通行止めが解除されました。

これにより、新潟県内の国道の通行止めはすべて解除されました。

記録的な大雪で

▽新潟県見附市の国道8号の坂井北交差点から

▽長岡市の国道17号の牛ヶ島交差点までの30キロ余りの区間については立往生や渋滞が発生し通行止めが続いていました。

この区間について国土交通省・北陸地方整備局は、立往生や渋滞が解消し、陸上自衛隊などによる除雪もおおむね完了したことから、21日午前8時、およそ26時間ぶりに通行止めを解除したと発表しました。

道路の除雪体制

情報連絡本部の設置

■ 道路管理者等で構成する情報連絡本部を設置(国、県、市町村、ネクスコ等)

◇ Webで常時接続し、いつでも情報共有可能な状態とし、通行止めの情報連絡や迂回路の調整等を随時実施。

鳥取県と国土交通省のリエゾン相互派遣

■ 鳥取県と国土交通省(鳥取河川国道事務所、倉吉河川国道事務所)で、必要に応じてリエゾンを相互派遣

<県の対応>

• 国土交通省からの広域迂回の呼びかけに対して、道路情報表示板、国HPに、県外からの大型車の広域迂回について、さらに強いメッセージの発信を要請する。

□ 道路情報板(要請内容)

- 「大雪につき大型車両の鳥取県方面への運行は控えてください。」

• 県は、県のHPで以下の内容を道路利用者に対してお願いする。

□ 県外から鳥取県にお越しの皆様へ

- 大雪につき大型車両の来県は控えてください。
- 鳥取県において大雪が予想される時には、不要不急の運転を控えてください。
- 県内では、大型トラックや大型トレーラーによる立往生が多発しています。こうした大型車両は、他地域を経由した広域迂回を検討してください。
- なお、鳥取県に入ってくる時は、道路情報の十分な確認と冬用タイヤの装着、タイヤチェーンの準備を必ずお願いします。

• 県内のトラック協会に対して協力要請している。

2 市町村・県民等への注意喚起等

(1) 市町村への依頼事項(その1)

- ① 夜間・休日における参集体制、被害情報の収集・伝達方法等の再確認
- ② 早めの住民への防災行政無線等による必要な情報の提供、注意喚起
- ③ 孤立集落発生に備えた支援準備
 - 孤立集落との連絡手段の事前確認
 - ライフライン障害発生に備えた救援物資(食糧、飲料水、暖房機器(ストーブ等)モバイルバッテリー、小型発電機等)及び避難所の提供準備
 - ※ その他、鳥取県地域防災計画に定める雪害対策への準備
 - ※ 県では緊急用に衛星携帯電話6台、EV用の外部給電器10台、ポータブル電源10台を貸出可能。
- ④ 公共交通の長時間の立ち往生発生時の支援(災救法)
 - 公共交通車両を含む立ち往生が発生した場合の避難所等の提供準備

2 市町村・県民等への注意喚起等

(1) 市町村への依頼事項(その2)

⑤ 避難所の準備

○ 避難所における新型コロナウイルス等感染症への対応について

<可能な限り多くの避難所を開設>

通常 of 自然災害発生時よりも可能な限り多くの避難所の開設を図り、避難者の密度が高まらないよう配慮。また、利用可能なホテルや旅館等の活用等も検討。

<避難者の健康状態の確認>

避難者が避難所へ到着した時に体調不良者を早期発見できるよう、検温など可能な限りの健康チェックを行い、健康状態を把握。

<頻繁な手洗い、咳エチケット等基本的な衛生対策の徹底>

避難者及び避難所運営スタッフの、基本的な衛生対策の徹底。

<避難所内での十分な換気の実施、避難者同士の十分な間隔を確保>

必要に応じて、段ボール間仕切りや段ボールベッドを活用。

<在宅避難者の把握に努めること>

(参考)災害時停電対策

中国電力、NTTとの協定締結（令和元年度）

災害時の停電復旧、通信確保のための連携に関する協定を締結

- 平時の取組：連絡窓口、重要施設等の情報交換、倒木等の事前伐採
- 災害時の取組：災害対策本部への情報連絡員の派遣、ドローン・ヘリコプター等を活用した災害情報の共有、停電復旧のための障害物除去等の協力

EV(電気自動車)・PHV(プラグインハイブリット自動車)等による充電態勢整備

■ 外部給電器の備蓄(R元年度)

- 電気自動車等に接続して大容量の電気を供給できる外部給電器10台を整備
- 災害時に県等が所有するEV・PHVと一体運用して緊急で避難所等へ給電

■ とっとりEV協力隊の創設(R元年度～)

- 県民・県内企業が所有する外部給電器の接続が可能な電気自動車等をあらかじめ登録、災害時等にボランティアで参集して電気を供給(現在50台登録)



■ 三菱自動車工業(株)と災害時協定締結(R4年度)

災害時の給電体制強化のため、三菱自動車工業(株)及び県内系列販売会社と協定を締結

- 災害時の電動車両等の貸与(県内外の販売店から)
- 県のイベント・防災訓練等への協力、災害時のEV活用の啓発・PR等



PHVによる電力供給のデモンストラーション

■ その他

- ガソリン発電機30台(H13年度)、ポータブル電源10台(R4年度)等を整備済

2 市町村・県民等への注意喚起等

(1) 市町村への依頼事項(その3)

＜新型コロナ在宅療養者等の避難対策＞

○在宅療養者等のための避難所の確保について

避難所の開設に当たっては、在宅療養者等用の避難所（専用避難所の開設、又は専用スペースの確保）の確保をお願いします。

→在宅療養者等の避難先となる避難所情報を、県危機管理局へお知らせください。

○在宅療養者等への連絡先の周知について

避難情報発令の際、在宅療養者等に対して、自宅の災害危険性が高い場合は、避難先調整のため、避難について>Contactセンター・保健所に相談するよう、併せて周知をお願いします。

→Contactセンター・保健所で避難先を調整し、その結果を在宅療養者等にお知らせします。

2 市町村・県民等への注意喚起等

(2) 県民への注意喚起等(その1)

気象台の発表やニュースなど最新の気象情報を確認してください。また、大雪による視界不良時は不要不急の外出、車の運転をなるべく控えるよう強くお願いします。

- 雪道で運転するときは、**必ず冬用タイヤの装着やチェーンの準備**をしてください。
- 買い物が困難になるほか、商品配送が大幅に遅れる可能性があります。**食料・水**などあらかじめ備蓄して下さるようお願いします。
- **停電も想定されます。明るいうちに防寒や照明など停電時の対策をお願いします。**緊急の場合は近所の方等に助けを求めてください。

雪道での車の運転

- 気温が下がっている時は路面の凍結にご注意ください。特に日陰や峠道、橋の上は凍結しやすいので、慎重に運転・通行してください。
- スコップ・飲食料・毛布などの車内準備や、車のガソリンをこまめに満タンにしておくなど、大雪時の渋滞や立ち往生の際の備えをお願いします。
- 万が一、車が雪で埋まったら、**一酸化炭素中毒防止**のため、できるだけエンジンを切り、マフラー周辺を定期的に除雪しましょう。

孤立のおそれがある地域での対策

- 大雪による倒木により、道路の通行止めが発生する可能性があります。食料、水、燃料等の十分な備蓄や連絡手段を確保しておきましょう。
- 親戚や知り合い、ホテルなどへの事前避難を検討してください。

2 市町村・県民等への注意喚起等

(2) 県民への注意喚起等(その2)

除雪作業中の事故 防止対策を！

- 雪下ろし**などの除雪作業は複数人で、はしごを固定し、ヘルメット・命綱を正しく装着して行いましょう。
- 除雪機**を使うときは周囲に人がいないことを確認し、雪詰まりの取り除きはエンジンを切ってから行いましょう。
- 作業のときには携帯電話を持っていきましょう。

なだれや屋根からの 落雪に注意！

- 斜面下の付近にお住いの方は、建物の2階などの高く、斜面から離れた場所で生活するよう心掛け、なだれ注意報等の気象情報やなだれの前兆現象（雪の裂け目や雪の固まりが転げ落ちるなど）に注意し、早めの避難に努めましょう。
- 新雪や晴れの日の雪のゆるみによる屋根等からの落雪、つららの落下、電線からの落雪に注意しましょう。

水道管の凍結・ 破裂に注意！

（-4度以下の低温が
予想される場合は特
に注意）

- 凍結を防ぐには、水道管や蛇口の部分に保温材を取り付けたり、少しずつ水を出し続けておくと凍結しにくくなります。
- 凍ってしまったら、自然にとけるのを待つか、凍った部分に布やタオルをかぶせて、その上からぬるま湯をかけてゆっくりとかしてください。

2 市町村・県民等への注意喚起等

(2) 県民への注意喚起等(その3)

大雪による船舶の 転覆・沈没に注 意！

- 定期的な係留状況の確認、早目の準備（陸揚げ保管、係留の強化等）を行いましょ。
- 単独作業を避け、必ず救命胴衣の着用をお願いします。

新型コロナ在宅療 養者等の皆様への お願い

- 早期に避難等の行動を開始してください。
 - ・ハザードマップでご自宅の周囲の災害リスクを確認し、災害危険性が高い場合は、早期に避難等の検討を始めてください。
 - ・既に災害が発生しているなど、危険が迫っている場合は、命を守ることを最優先に避難等の行動をとってください。
- 避難を検討される場合の連絡先
まずは、東部圏域の方は鳥取市コールセンターへ、中部・西部圏域の方は県のコンタクトセンター（65歳以上の方や妊婦さん等保健所に登録されている方は各管轄保健所）へご相談ください。（避難先を調整します。）
＜連絡先電話番号＞
鳥取市陽性者コンタクトセンター：0120-564-962
鳥取県陽性者コンタクトセンター：0857-26-8633

▽雪に関する注意情報は鳥取県ホームページでもお知らせしています。

※トップページにリンクを掲載しています。<https://www.pref.tottori.lg.jp/yuki/>

2 市町村・県民等への注意喚起等 (2) 県民への注意喚起等(その4)

○最新の気象情報や防災情報に基づいて行動してください。

■最新の気象情報は、気象庁のホームページ等で確認を。

・警報、注意報等、今後の雪（降雪短時間予報）

など

■市町村は防災行政無線等

■県はホームページ、トリピーメール、防災アプリ等で
防災情報や公共交通機関の運行情報等を発信。

・避難情報・避難所開設状況

・交通情報

・道路情報

・ライフライン情報 など



ホームページ「とりネット」

「雪に関する注意情報」のページを設置
(トップページの「防災・救急」又は特設リンクから)

とっとり雪みちNavi

県内の道路状況をライブカメラで確認できます。

<http://yukinavi.net/index.html>

「あんしんトリピーメール」

スマホや携帯電話等に気象情報や防災
情報等をメールで配信

「あんしんトリピーなび」

鳥取県が提供する無料の総合防災アプリ
(プッシュ通知や最寄りの避難所情報など)



■ NHKのデータ放送（生活・防災情報）やヤフー防災速報でも各種防災情報が確認可能。

2 市町村・県民等への注意喚起等

(3) 県外からおいでになる皆様へ

ホームページに掲載

- 最新の気象情報や道路情報、交通情報を確認してください。
- 大雪による視界不良時は不要不急の外出、車の運転をなるべく控えるよう強くお願いします。
- 車でお越しになる場合は、必ず冬用タイヤの装着やチェーンの準備をしてください。
- 大雪のときは大型車両の来県は控えてください。
 - ※県内では、大型トラックや大型トレーラーによる立往生が多発します。
他地域を経由した広域迂回を検討してください。
 - ※なお、鳥取県に入ってくる時は、道路情報の十分な確認と冬用タイヤの装着、タイヤチェーンの準備を必ずお願いします。

2 市町村・県民等への注意喚起等 (4) 県内で登山等をされる皆様へ

冬山登山時の注意事項

鳥取県内では冬山での遭難や事故が相次いで発生しています。

登山やレジャー等で冬山に入る際には、冬山の危険性を十分理解し、ルールやマナーを守った上で、安全を最優先に行動しましょう。

また、気象状況によっては、入山を中止しましょう。

＜登山の際は、次のことを必ず守りましょう。＞

- 登山届を必ず提出する(迅速な救助につながります)
- 十分な装備、万全な体調で臨む
- 単独行動は避け、余裕ある計画を立てる
- 気象状態を常に確認する
- 携帯電話と予備バッテリーを準備する
- 天候悪化、体調不良時は無理せず引き返す

※特にバックカントリースキーは整備管理されたスキー場と異なり、様々なリスクを伴います。リスクを自覚し、十分な準備をして無理のない行動をお願いします。

3 警戒・即応体制の確保

県の体制

- ◆現時点では、本県への影響について警戒・監視を行うとともに、各部局において適時、県民等への注意喚起等を行う。
- ◆大雪警報、暴風(雪)警報(風が陸上25m/s以上)が発表された場合、県の体制を「警戒体制」に移行する。
- ◆その他、社会生活に大きな影響が生じた場合、状況に応じた体制強化を行う。

必要に応じ、関係機関が随時に情報共有できるようにweb会議(常時接続)を開設する。

<大雪時の体制移行のめやす>

- **注意体制** 大雪注意報の発表、公共交通機関の予定運休情報を入手した場合
- **警戒体制(1)** 大雪警報、暴風雪警報(陸上最大風速25m/s以上)の発表
- **警戒体制(2)** 災害発生またはそのおそれがある場合等〔災害警戒本部を設置〕
- **非常体制** 特別警報の発表、甚大な被害が発生した場合等〔災害対策本部を設置〕

道路の除雪体制

平成29年1・2月の豪雪や昨冬の倒木による通行止めの経験を踏まえ、強化した除雪体制により県内の道路交通確保に努め、関係機関と情報共有を図り、連携して道路交通の確保に努める。

1 除雪体制

① 除雪車の体制

- ・ 全除雪車 646台が出動可能な体制を配備 (県: 509台、国土交通省: 111台、NEXCO: 26台) ※歩道除雪機含む

② 早期の除雪出動(出動基準5~10cm程度)

- ・ 気象状況に応じた早めの出動を全除雪業者に指示

③ 全除雪車へのGPSシステムの配備や、ライブカメラの増設

- ・ 除雪作業の効率化を図るため、全除雪車へのGPSシステムの配備
- ・ 各路線の路面状況の把握を図るため、ライブカメラを増設 255台(H28:153台)

④ 重点除雪区間の早期交通確保

- ・ 豪雪時に広域的な交通と緊急車両等の交通を確保することを目的に、優先的に除雪作業を行う重点除雪区間を設定

⑤ 凍結防止剤の散布

- ・ 凍結に備えて国道181号、180号、183号をはじめ国道482号内海峠や国道313号犬狭峠、国道179号人形峠等の県境部において重点的に凍結防止剤の散布を実施

⑥ 排雪場の確保

- ・ 河川敷などに排雪場を確保し、関係機関とも情報共有

⑦ 大型車待避所の確保

- ・ 鳥取道や鳥取西道路等の集中除雪(通行止め)時に大型車が退避できるスペースを確保
(河原除雪基地、布勢総合運動公園、武蔵武道館、東郷湖羽合臨海公園 等)
- ・ 牽引用車両待機
立ち往生が予想される箇所に牽引用車両として除雪機を事前待機(国道9号、鳥取道)

⑧ 大雪に関する気象情報発表時、県土整備部道路企画課に「情報連絡本部」を設置、災害対策本部と関係機関(国、県(危機・県土、警察)、市町村、NEXCO等)で除雪・交通状況等を共有・連携して調整。

- ・ リモート常時接続による情報共有

道路の除雪体制

2 倒木に対する対応

① 事前パトロール

- ・ 倒木危険箇所を点検し、所有者の許可が得られた場合は部分伐採を実施

② 緊急連絡体制の確認

- ・ 中国電力、NTT、森林組合連合会の緊急連絡先の確認

③ 倒木発生時の対応

- ・ 役割分担と協力体制、作業手順の確認
- ・ 電線を巻き込んだ倒木や電柱倒壊への早期対応に向け、ビジネスチャットツールを用いた電線管理者との情報共有体制の構築

3 重点除雪の実施

＜大雪時における国管理道路等の幹線道路の除雪＞

① 重点除雪

- ・ 大雪時に大型車両のスタックによる通行止めが発生しやすい区間を重点除雪区間として設定し、重点的に除雪を行う。

② 集中が高まった場合、鳥取県災害対策本部等と協議し集中除雪を行い、除雪完了後、早期に交通開放を行う。この場合、不要不急の外出自粛と除雪区間の迂回のご協力をお願いします。

※同時に2路線の通行止めを行わない。

※国道9号, 53号, 29号等の現道は、集中除雪時も緊急車両・2 t以下の車両の通行を確保する。

4 スタック発生時の対応

事故・スタック発生時の初動の迅速化

- ・ 通行規制要員を迅速に配置し、道路管理者と警察が連携し速やかに通行規制を実施。
- ・ スタック車両の撤去と並行して、警察と連携し滞留車両を早期に退出。

道路の除雪体制

5 道路利用者へのお願い

昨年末の大雪時の対応を踏まえた以下の対応について徹底を図ることとしております。
ご協力をお願いします。

① 広域う回の強化（記者発表、チラシ配布、道路情報表示板への表示、鳥取県からの広域う回のお願いの周知）



<鳥取県からのお願い>

- 鳥取県においては大雪が見込まれており、大型車両の来県は控えてください。
- 大雪の際には、不要不急の運転を控えて下さい。
- 県内では、大型トラックや大型トレーラーによる立往生が多発しています。こうした大型車両は、他地域を経由した広域迂回を検討してください。
- なお、鳥取県にいらっしゃる際には、道路情報の十分な確認と冬用タイヤの装着、タイヤチェーンの準備を必ずお願いします。

近畿方面から松江方面及び、九州方面から近畿方面に向かう方は、最新の情報をもとに山陽側への広域迂回をお願いします。

(参考)

鳥取県トラック協会に対し、「鳥取県豪雪時における広域迂回のお願いについて」を令和4年11月に文書で要請

② 冬用タイヤ・タイヤチェーンの装着の徹底

- 鳥取道でのタイヤチェック、大型車チェーン装着等の呼びかけ、交通違反の周知・取締り推進
- 鳥取道上り線（河原IC）における、国交省、警察と合同で冬用タイヤチェックの実施体制を構築。

道路の除雪体制

<参考>12月17日～19日の大雪に係る対応

12月17日～19日の道路の交通規制状況

12月21日(水)10時現在

通行規制箇所数 全面通行止 1箇所 (解除済 1箇所)

【県管理道路】

現状	路線名	区間	規制の種類	理由	規模、被害状況	規制日時	孤立集落の有無	備考
解除済	(一)陸上岩井線	岩美町田河内	全面通行止	倒木	無	12月19日(月) 13時～17時	無	

道路の除雪体制等

6 道路利用者等への情報発信

- ① 道路情報板への道路情報の表示
- ② あんしんトリピーメール、雪みちNavi、ホームページ、ケーブルテレビ、ラジオ(NHK第一、BSS、FM山陰)、SNS等により道路利用者に向けて道路通行状況等を情報発信

[情報発信する内容]

- 道路通行規制情報(通行規制開始・規制解除時)
- 道路路面の積雪状況(雪みちナビで随時情報発信)
- 気象情報(注意報・警報発令時)
- 道路利用者への呼びかけ(異常気象時「不要不急の外出を控えてください」)
- 道路利用者へのお願い(異常気象時「広域迂回を行ってください」)



冬期の道路交通の確保について

【広報活動等の実施】

広域迂回の促進・不要不急の外出抑制

各種訓練等の実施

【除雪の実施】

大規模な車両滞留の防止

地域住民の孤立防止

情報連絡本部の設置
webによる常時接続
関係機関と情報共有

大雪に関する気象情報発表時

情報連絡本部会議開催

鳥取河川国道事務所主催
冬期道路交通確保会議

【構成員】

- ・鳥取河川国道事務所
- ・倉吉河川国道事務所
- ・岡山国道事務所
- ・鳥取県、岡山県
- ・市町村(沿線自治体)
- ・警察(鳥取県・岡山県・兵庫県)
- ・消防(鳥取県東部)
- ・NEXCO(福岡・津山高速)
- ・中国四国管区警察局
- ・気象台
- ・鳥取運輸支局
- ・自衛隊

雪害対応

【除雪の実施】

並行区間である国道9号・山陰道及び国道53号・鳥取道
とも除雪作業を行い出来る限り交通を確保

降雪の継続により除雪に支障をきたし
車両滞留のおそれがある場合

通行止めの検討・判断のタイミング

- 降雪状況
- 路面積雪状況
- 渋滞(低速)状況
- 交通事故等

大規模な滞留車両の発生前に集中除雪のための通行止めを実施
(各路線ごとに判断)

関係機関と連携

集中除雪し早期に交通を確保

冬期に向けた事前対策

【広報活動】

- 広域迂回・不要不急の外出自粛の呼びかけ(記者発表・HP・SNS等)
- 中国・四国・九州・近畿各府県トラック協会等へ積雪時等における滑り止め装着の徹底について依頼文書を発出(運輸、警察本部、鳥取県連名)
- 冬用タイヤ早期装着啓発活動(装着率調査、チラシ配布)
- 降雪時の冬用タイヤ・チェーン等の装着指導の実施(大原IC、河原IC)

【訓練等】

- 雪害対策訓練(11/1実施)
 - ・異常降雪時の雪害に対して、除雪体制や計画的・集中除雪の実施、立ち往生車両が発生した場合の対応についての対応訓練
- 車両等移動訓練(11/7実施)
 - ・今年度は倉吉河川国道事務所が主催
- 除雪オペレータ講習会(11/17実施)
 - ・鳥取県土整備事務所、国交省鳥取・倉吉の共催
- 山陰道雪害対策訓練(12/8実施)
 - ・国、鳥取県、警察合同

● 除雪体制及び除雪方法

- ・冬用タイヤ指導
- ・立ち往生が予想される箇所に牽引用車両を事前待機
- ・佐用JCTから鳥取道への車両流入抑制対策、広域迂回の実施
- ・除雪車にGPSを配備しリアルタイムで位置情報を把握
- ・国道373号への大型車流入抑制
- ・大型車待避スペースを確保(湖山西、布勢、美作市今岡)

● 各関係機関との情報共有

- ・連絡会議開催(Web常時接続により迅速な情報共有)

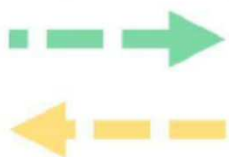
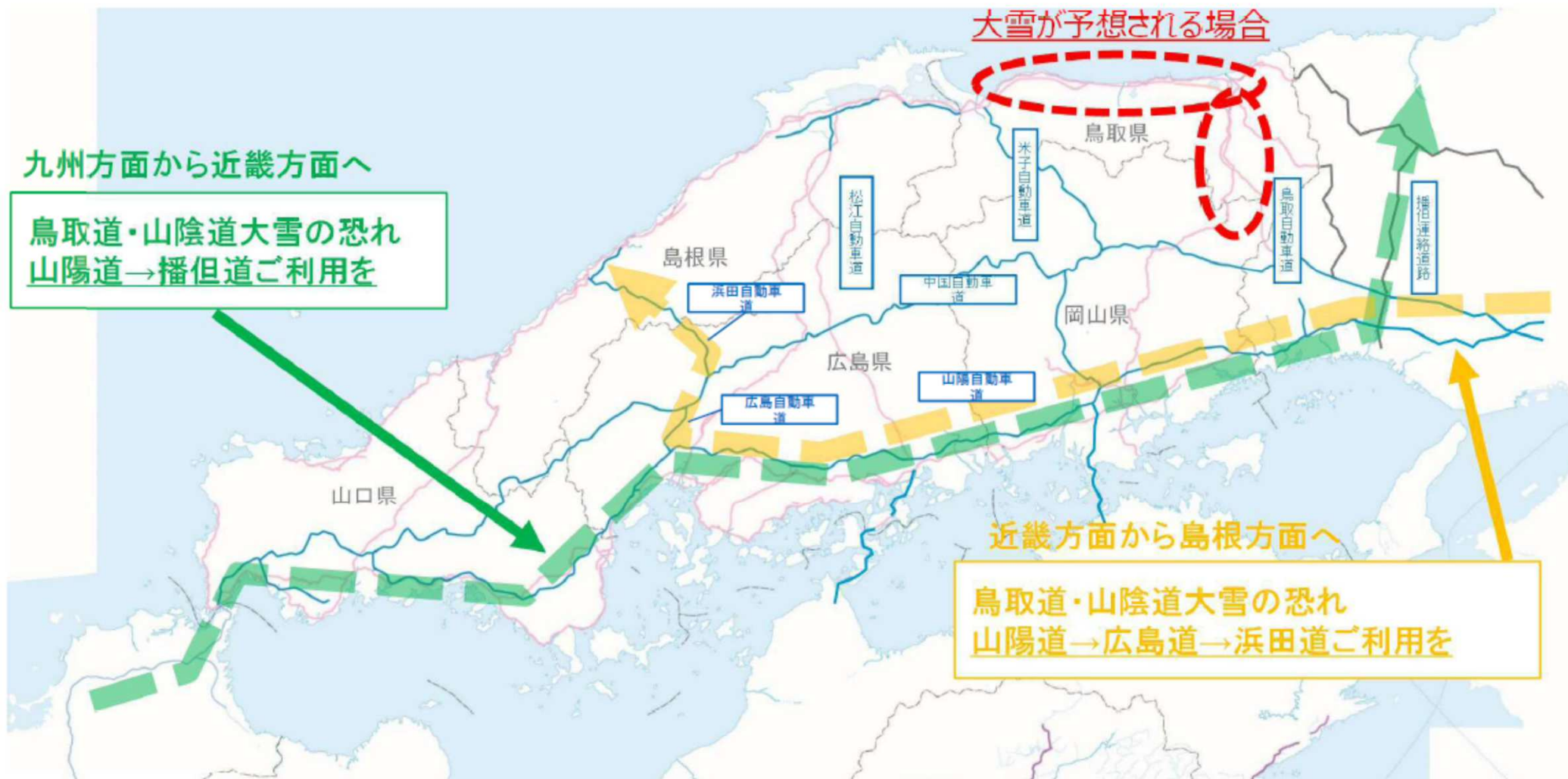
● 広域支援など異常降雪時の支援体制強化

- ・災害協定業者等の活用

● 長時間滞留が発生した際のドライバー支援

- ・各機関連携・協力して実施
- ・「鳥取県における雪害時の乗員保護支援計画」の策定(R4.1.18)中国地方整備局、中国運輸局、鳥取県、NEXCO連名

鳥取県において大雪が予想される時における 広域迂回路のお願い



想定される広域迂回路

※広報イメージ

**冬用タイヤ指導
実施箇所**



河原IC 冬用タイヤ指導実施状況



実施日 令和4年12月18日 (日)

場所	時間	チェック台数 (台)		冬用タイヤ装着台数 (台)	装着率
河原IC	0:00~9:00	鳥取ナンバー	604	604	100.0%
		県外ナンバー	177	172	97.2%
		合計	781	776	99.4%
大原IC	0:00~12:00		913	825	90.4%

1. 注意喚起

- ◆大雪に関する予測発表時には注意喚起を実施
(NEXCO西日本のホームページ、アイハイウェイ)
- ◆関係機関と連携し、必要な注意喚起や情報提供の実施

2. 対応体制

- ◆最新の気象予測を踏まえ、警戒レベルを判断し体制を構築

3. 冬用タイヤ規制 及び 重点的な除雪

- ◆積雪や路面状況を踏まえつつ県警と連携し「冬用タイヤ規制」の実施と、冬用タイヤ装着チェック、指導の実施
- ◆最新の気象予測に基づく隣接事務所からの除雪車両の強化配置も含めた重点的な除雪や、凍結防止剤の散布を24時間体制で実施

4. 関係機関との緊密な連携

- ◆道路管理者間での迅速な情報共有、連携を実施（県、国交省 他）

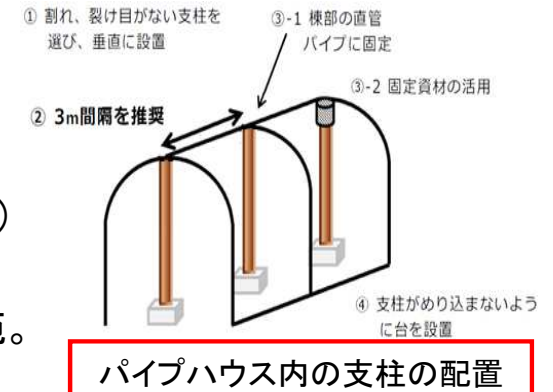
農林水産関係への対応

1 農業関係

○果樹・野菜、パイプハウス等施設の暴風・雪害対策について、各市町村、JA、県農林局等を通じて農業者へ対策を講じていただくよう連絡。

- ・「寒候期における農業技術対策」について市町村や農業関係団体などに周知。(12/1)
- ※更に、再徹底の連絡を実施。(12/20)

○経験の浅い新規就農者や若手農業者を重点とした個別指導や研修会(12/14)等を実施。
以下の対策の徹底について重点的に注意喚起している。



耕種農家	<p><果 樹(梨)> ◇積雪前の粗せん定、果樹棚用の中柱(突き上げ柱)を追加補強</p> <p><野菜(白ねぎ)> ◇土寄せの徹底、バンド補強(出荷約4割終了)</p> <p><パイプハウス> ◇防風ネットや寒冷紗を取り除く(雪が滑り落ちにくく、倒壊につながるため)</p> <p>◇支柱の配置(モウソウ竹、間伐材、直管パイプなどをハウス内部で地面から天部に突き上げる)</p> <p>◇アーチパイプ地際部の補強(経年劣化で腐食が進んでいる場合は、補強用のパイプを差し込む)</p> <p>◇降雪前にハウスを密閉(内部の温度を高く設定し、融雪を促すため)</p>
畜産農家	各JA、大山乳業、県農林局等を通じて、生産者へ畜舎の保温対策、給水管の凍結防止等を依頼。

2 農地・ため池関係

○「降雪期における農業用施設の安全管理の徹底について」各市町村、県農林局へ連絡。

3 林業関係

- 各総合事務所(八頭事務所・林業試験場含む)に対して、管内事業者及び各市町村への大雪に係る災害発生防止に向けて情報収集と安全管理の呼びかけ徹底を連絡。
- 各林業関係組合に対して、各組合員への安全対策・安全管理の徹底を連絡。(12/20)

4 水産関係

○各漁業協同組合や水産関係団体向けに、漁業関係者の安全確保、漁船・漁具、漁港・海岸保全施設、漁業用施設等における防災措置について連絡。(12/20)



<農業用パイプハウス雪害対策研修会(12/14)>
(北栄町) 81

公共交通機関の対応

◆公共交通機関への注意喚起

公共交通機関の連絡体制の再確認及び情報提供を実施

- ・休日・夜間を含め、交通事業者との緊急連絡体制を確立済み

⇒関係機関への情報提供、関係機関からの情報収集に努め、メールやホームページで随時情報提供を行う。

中国電力(株)・中国電力ネットワーク(株)の対応

○対応体制の整備

- ・グループ会社を含めた連絡体制の確認、事態に即応した対応体制移行 など

○早期復旧に向けた取組みと迅速な情報発信、鳥取県等との連携

- ・速やかな被害状況の確認・原因の特定、情報収集にあたっての自治体等との連携
- ・停電情報アプリ、HP等を活用した情報発信、必要に応じてリエゾン派遣 など

○積雪や倒木等に備えた停電対策

- ・過去の被害を踏まえ、より強度の高い電柱への建て替えや配電線ルートの変更
- ・倒木等への警戒と情報の共有、早期停電復旧に向けた倒木伐採のための体制整備 など

NTT西日本(株)の対応

○県関係機関との連携強化

- ・県土整備局様とのビジネスチャットを使用した倒木等被害の連絡体制構築済み
- ・気象台様と関係機関における気象防災オンライン会議参加による情報収集強化
- ・ホームページ等を活用した通信サービスに関する迅速な情報発信

○災害対策機器の点検、準備

- ・小型ポータブル衛星電話、携帯型発電機、ドローン、移動電源車等の災対機器の点検、準備済み
- ・通信設備設置局舎への積雪監視カメラ設置による積雪量監視

○社内関係部への指示

- ・大雪に備えた保守体制、リエゾン派遣の準備を指示済み